第42号

421☆ 面3面★ 営富 宮業活動・健康教 のH・就労B・サ 新年のご挨拶 教 生 室活 介 護 行

新 年 挨

あ け ま しておめでとうござい ま す

年2 す 中 0 2 は 4 当 年 施 \mathcal{O} 設年 の頭 運 に 営 あ に たり 理 謹 解 h とご て 新 協年 力 のご を 賜り援 厚 を < 申 御 U 礼上 申げ ま 上 **ब** げ ま旧

時留 人私れりソ ĺ なま ま生た \mathcal{O} りに ち 瞬 いし シ年 問記おが日た。 ャは ル を憶けで に 大やるき 利 デ 4 な 切思1 用 ィ年 る つ 者スぶ様夕り た にい日こ 出のとに一な こなど些いからは、からは、 など ンとスい そ こるか些に事も細 う Ī お 無 携 でしな < 葉 言 外に われま U を 葉 も を出れた日 れることに ょ の 年間耳 ؠٙٛ でし せ ただきまれ か 'n 私 行に か とに感謝して参りまれたちは、これから、それでも、想いは、かありませんが、そ 事 だけ がま 4 U で嬉 年た。 131 U り大 石 の まらはそ \mathcal{O} 開 もそこの方 里 催 忘 一で れ のにの も な

げ今職なで割 後員生はや今 活 期年 卣 入待は を 居 守居に り心な様う事 誠がの心え ∞意努めて参るから、その方のできる」を 所 る C かも て参る 真色 価 々 がな 所自 _ つ 問変 「存です、」「こ実現のおしも増やし お化 れが る あ Ŋ 年 でも 事 手 業所 あり 伝 5 が が ŧ でき 求 कुं 8 られ る 石 豊 る の 役 里

末 筆 拶 で は させ ござ 7 61 ま 11 ただ す が きま 様 の Ē 健 康とご多幸をお 祈 り 新 年 0

ま

ょ

層

 \mathcal{O}

Ĩ

支 援

を

賜

り

ま

すよ

う

ıŊ

か

5

お

願

11

申

皆

任 加 博 仁

厚

ス

主

謹 ん で 新 年 の お 慶 び を申 し 上 げ ま す

御 IB 礼 年 申 ф は 上 S ع げ ま か す たら 8 ご 愛 顧 に あ ず か り 厚

<

能 舞 断 被 今 た 登半 い 害 年 を 許 状 が 申 は さ 況 出 島 元 上 な が た 地 \Box げ 61 継 ほ 震 か 5 ま 状 続 か に **व**ू すると 石 況 ょ り 津 が Ш 波 続 県 も 建 しし \mathcal{O} て ر ح 発 物 最 て 生 の い 大 で、 倒 ま 震 ਰ੍ਹ 壊 度 年 1 ゃ 7 ケ 謹 明 土 を 月 け 砂 h 観 は で か 崩 測 お そ 5 n

見

予

う

 \mathcal{O}

た

研 61 食 ま 常 る は ように ざと す् 各 事 当 修 事 自 に 提 事 態 に 実 業 カ 61 供 に 際 努 う を 非 備 所 \mathcal{O} に め 入 時 常 訓 え て 停 は、 7 れ に 用 練 飲 電 参 即 持 も 等 ライフライ 利 料 9 ち 行 座 出 用 を 水 ま に って や 想 **ब**ू 者 対 様 定 食 バ お 心 料 \mathcal{O} で 9 ツ きる ク 安 た 等 ン ま が 全 र्च を 訓 \mathcal{O} 練 準 備 止 ょ 安 j. 備 な 蓄 ま ま ۱*(*]۱ た、 非 を る が 訓 常 等 ま 昨 守 て 練 時 \mathcal{O} れ な 年 \mathcal{O} 11 非 た

向 様 情 ま た に を 上 こ 賜 満 職 9 員 努 足 ま 8 61 ただ す 回 る ょ 所 į 存 利 け 用 C る すの お ょ 者 願 様 う、 61 Ç 更 申 ょ に 何 り は 上 卒 げ 地 変 層 域 ま わ \mathcal{O} ਰ੍ਹ 5 サ 住 1 民 め ビ \mathcal{O}

主任 三上 晃路

ヒ で ま 雪 ヤ 変 せ 道 よも弘研 ij — ら 前 修当 えわる道路: の運 を行 い 様 リとする 所 で の時があります。 町状況、いくら気: 今 安 回 全 を意 の識 でづけ す る た かをいめ に っ 事 毎 て で 年

をこ発れ知 でも 取の生 つ τ 程 し IJ 玉 こています。」の毎年、多くの を いるはずの 冬道の怖さ」。「を運転する人ならだれも 度 なら大丈夫」といった意識 多くの冬道での事故がはずの 冬道の怖さ」。そ 安全な冬を過ごしたい 滑らないだろう、



る前

の年 安は 全 暖 運冬 転に努めてまいります。の影響もあり、だいぶ雪が少ない です が

日

々今

3 4.視界不良時は前方をよく見て早 ル等の急激な操作をさける 倍以上の確保 以上減速する 車間距離は、 急加速、急ブレーキ、急ハンド スピードは、 夏場より10キロ 路面乾燥時の2

5.無理な追い越しは絶対しない

めの徐行を





















き迎い師 忙

1 Ü 利 月 用 者の皆さんに、 日 「初めをしていただきました。 年 明 、 け 最 初の 正月明けるの作業日、 という事で、 この 日は作 業を始 お雑煮を め

る 振

思い思いの字を一生懸命書られ、また書初めも皆さん皆さん美味しいと笑顔が見職員手作りの雑煮を食べ、 素晴らしい作品ができ

メニュー

- みょうがの炊込みごはん
- •枝豆ごはん
- ・なすの揚げびたし
- •豚汁
- 串物
- かぼちゃの白玉アイス添え







食事もいっぱい!!!







10/27 紅葉見物











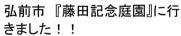




美味しそうだな~







街中にも素敵な景色が!!紅 葉には、まだ少し早かったので すが、お天気に恵まれて心地 よい外出となりました!



12/23 クリスマス忘年会





















イた大

ヤ

ムとりんごジ

그 |

ス

ベ

ル

デ

の

里をイメー

ジし

た

商

品

の魅 のラ

力を伝

ン め 石

< 元

し

た。

弘 L

岩

を木

ふ山

んの

に栽

使 培

用さ

しれ

ようななだんが

前ま

みあ

もて

どうぞ

味

に

は

自

信

が

あ

IJ

ま

す。

お

土

産

みよたた

ま

た

目ィ

わバ

かゥ

んるよう

な文字もに対応でき

もきる

手荒

れ

の

て

い

ま

す

の

で、

紹 で す

治トレ

1=

は、

重は、症手

化洗

こいくつ に慢を改美

スを

感じ

て

し

まい

ま

す

ルー

ベ

IJ

り地合う商りど

ちくま元わ外品んち

申た。

道

の

駅

ち

IJ

ま観

し光

た施

ら設

ぜ

Ŋ

探

て

等に置

い

ŧ

で ン

Jam

【ブルーベリージャム】

Jam





【りんごジュース】

相まし



【りんごジュースラベル】

必要な中でしまう。

いやうる。

おいを取り過ぎること

う。

洗

浄力が高過ぎる

が肌

ま

石

け

W

ソー

プは、

あにイ

事 りはな ゃ 回 なる 家ひ いと び 割 事 で 手 で in 手が よ**う** 1 n 使うた、 にを か。 忷 て、 手ま び のさ 亀

カれに

サるは

裂

痛が

て を 洗うとき、手帯 強く こすり きは、 れを 強く って ま皮 す。脂 洗洗いい を そ のた過 過ぎると摩 過 とう、 る原 め ょ ぎ をクッション **3**る 因 ゃ 3 た 5 め さしく め で 3 乾 5 ℃燥 ま す。が す タい の

てハっ 最かし水手る らです。 つです。 後に、 分を か要に を 洗らな替 か て ŧκ IJ ず くよくない。 と保湿ケアをし クリー う 、拭き、 皮荒 い 乾 膚れ ム 燥して 科が 取りまし な ま は を悪 ど自 ハンド 潔な 受 化 手 診 す ま 宅 荒 11 ょ る で クリー ン れ う。 よう。 場 セ が カ 早 合 ル 悪濡チ め は、 化れや 厶 フ 1= な したタ ケ 医そ やまオ ア 師の で すまル を

いにで

allottal allottat allottati allottati allottati

大石の里では毎朝、SGグループの 理念を唱和し、業務に取り組んでいます。

≪SGグループ理念≫

私たちエスジーグループは、 ホスピタル精神(おもてなし)をもち、 医療・福祉・保健を通じて 地域社会の人々の幸せに貢献します。 患者・利用者・ご家族に喜ばれ 感謝される素晴らしいホスピタル環境づくりと ホスピタリティある仕事を徹底しておこないます。

···•《編集後記》•······

寒暖の差が厳しい今日この頃、皆さまいかが お過ごしでしたか?元旦から大きな災害が起こ るという、芳しくないスタートとなりましたが、 2024年を素晴らしい1年にするために、今日も 笑顔で前を向いて行きましょう。

《ご意見・ご感想・お問い合わせ》

多機能型事業所「大石の里」

にま

住所:青森県弘前市大字百沢字東岩木山3138-2

電話:0172-93-2110 FAX: 0172-93-2220

アドレス:ooisi-jusan@sg-miyagikai.or.jp

機関紙名:大石だより 第42号

発 行 人 :社会福祉法人みやぎ会(大石の里)

編 集 員 :広報委員会

